

西原校区地域食堂『よってっ亭』

西原校区では2ヶ月に1度、日曜日に西原地域コミュニティセンターを中心に、校区自治協議会主催の地域食堂『よってっ亭』が開催されています。「西原男の集い」のメンバーを主力に作られる“熱々”の特製カレーの配布や近隣の病院、介護施設等の職員による栄養相談。そして東海大学や県立大学の学生さんの協力による楽しいイベントが実施されています。

学生が育てた野菜を使った野菜スタンプや茶道部によるお茶会、ロボット操縦、また、お菓子のつかみどりなど、毎回多くの参加者により賑わいを見せています。



『にしばる健康ウォーク』



12月11日(日)、西原校区体育協会の主催で健康ウォークが82名の参加のもと開催されました。今年は西原小学校からスタートし、校区内の施設や名所旧跡を巡りながら、ゴールの東海大学熊本キャンパスを目指しました。新南部にある菅原神社や日頃見られない東消防署託麻出張所の消防ポンプ車や救急車、新南部公民館や保田窪菅原神社など、説明を受けながら約4.5キロの道のりを、移り行く季節を感じながら自ら住むまちをゆっくり歩きました。



長嶺校区

『ながみねハロウィンフェスティバル』

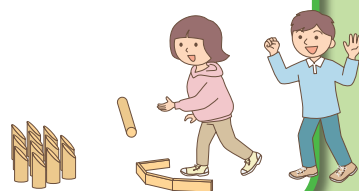
10月29日(土)、雲ひとつない秋晴れの中、ながみね森の中マルシェ実行委員会によるハロウィンフェスティバルが香りの森で開催されました。当日はそれぞれの参加者が仮装して来場される中、午前10時の開場前から門には行列ができていました。ハロウィン仕様のスタッフがスタンプラリーのスポットとなり、親子連れでスタンプ集め、賞品を受け取っていました。また、会場内はキッチンカーやアクセサリー、町内会からの出店、そしてステージイベントが開催され、子どもから大人まで多くの方で秋のハロウィンを楽しめました。



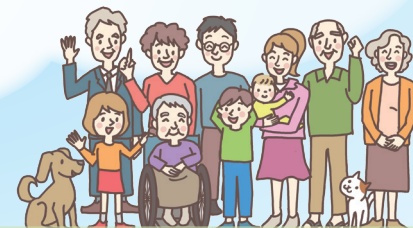
長嶺校区第2町内『モルック体験会』



12月10日(日)、長嶺校区第2町内において長嶺校区スポーツ協会主催の『モルック体験会』が開催されました。モルックとは、北欧フィンランド発祥のスポーツで、「モルック」という木の棒を投げて、「スキットル」という12本の数字が書かれた木製ピンを倒し、50点を目指す競技です。当日は2町内の団地内にお住いの15名の方が参加され、スポーツ協会の方の指導のもと体験をされました。参加された皆さんが初めての体験で、ルールや「モルック」の投げ方、点数の付け方など、皆で競技を楽しみながら体を動かされました。



託麻まちづくりセンターだより



住民が主役のまちづくり

託麻まちづくりセンターでは、地域の方々との交流を深めながら、住民が“主役”のまちづくりのサポートを進めています。近年、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、それぞれの住まいにおける地域活動が縮小、もしくは活動停止の状況となりました。そのような中、感染防止対策を行いながら地域活動に取り組まれた各校区の活動状況を紹介します。

託麻地域6校区の
基礎情報！

	世帯数 (世帯)	人口 (人)	高齢化率 (%)	自治会加入率 (%)	桜の名所
託麻東校区	6,772	15,930	21.61%	65.54%	小山諏訪神社・戸島神社
託麻西校区	7,651	15,998	24.76%	66.88%	託麻西4町内運動公園 御領ハの窪公園
託麻南校区	6,341	14,580	22.92%	75.92%	託麻南中央公園 長嶺殿の山公園
託麻北校区	3,930	8,593	27.82%	65.09%	神園の一心行・夫婦桜 県民運動公園(ちびっこ広場)
西原校区	7,247	13,761	24.85%	71.18%	保田窪放水路(東バイパスより 西側)、松の上公園
長嶺校区	6,200	13,951	23.35%	70.83%	長嶺公園、戸島下団四郎公園
合計/平均	38,114	82,813	23.92%	69.45%	
東区全体	89,618	191,124	25.15%	73.22%	

※熊本市情報統計室 人口統計表より(R5.2月現在)
※高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口割合) 熊本市情報統計室(R5.2月現在)
※自治会加入率(R3.4.1現在)
※託麻まちづくりセンターでは、お住まいの地域における町内自治会への加入促進の取組みを行っております。

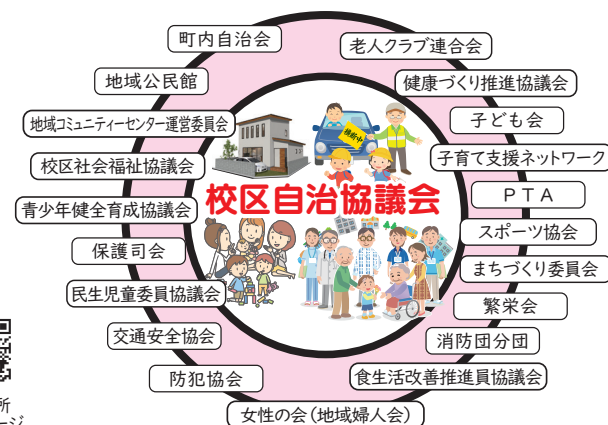
まちづくりセンターからのお知らせ☆三

皆さんがお住まいの地域には、右図のとおり、校区自治協議会という校区内における各種地域団体によって組織された団体があります。いくつか耳にしたことがある団体があるかとは思いますが、校区の中には様々な団体があり、日々私たちが暮らす安心安全なまち、子育てや福祉が充実したまち、地域住民の交流を図り、住み良くてきれいなまち、こういった『魅力あるまち』となるよう日々活動をされています。お住まいの町内自治会より各種団体の活動に関する広報がぁっていると思います。ぜひ機会があれば、興味をもって活動に参加されてみませんか。

なお、地域活動の情報は、各自治会の回覧板、その他、東区ホームページ等で紹介しております。ぜひ一度、情報をご覧下さい。



校区自治協議会



託麻東校区

神園山麓：通称『おにぎり池』水抜き清掃作業活動

託麻東校区の1町内（小山地区）と託麻北校区の6町内（神園地区）には、2つの町内をまたぐようにして、神園山の山麓に通称「おにぎり池」があります。現在、地域住民によって、外来種繁殖などを防ぐため、水抜き清掃作業が行われています。水抜き清掃後は神園山からの湧き水（藻器堀川の水源とも言われています）がたまり、次第に透明度が高い池へと変わっていきます。現在は地元の農家が管理されており、今後は、不法投棄や転落事故を防ぐため、フェンスが設置され、安心して見学できるようになります。近隣の皆様の憩いと交流の場となるよう見守っていきます。



託麻東校区第7町内 秋季文化祭



託麻東校区7町内では例年、11月に日向上公民館で文化祭、2月には東部交流センターで春季演芸会が開催されています。今年はコロナ対策を講じた上で、2年ぶりに文化祭が開催されました。毎回公民館全面を使って、たくさんの鉢植え花や盆栽、手の込んだ作品、書道、絵画、近隣保育園児の活動風景などが展示されています。今回も素敵な花の香りの中で癒されながら鑑賞しました。春季演芸会とともに、一つの町内とは思えないほどの大規模な展示や発表会が開催されています。



託麻西校区

たくにしきずな食堂

託麻西校区では、毎月第2日曜日に八反田公民館で、「たくにしきずな食堂」が開催されています。令和3年11月より地元のボランティア「ききょうの会」や校区の社会福祉協議会、ささえりあ保田窪の協力のもと、多世代交流や地域住民のつながりづくり、食育活動等を目的に開催されており、毎回、美味しいカレーの提供をはじめ、楽しいイベントが行われています。回を重ねるごとに参加される方が増えており、今後も子どもたちや子育て中の方々、そしてボランティアの方々が交流をしたり、多くの地域の方の交流の場となっていくことを期待しています。



託麻西校区の『健康づくり推進協議会』



託麻西校区には、校区自治協議会の中に他の6校区にはない校区住民で独自で立ち上げられている『健康づくり推進協議会』という組織があります。主にウォーキング大会や健康講座が開催されており、平成28年、熊本県より『健康づくり優良団体』を受賞し、活動も30年を超えています。

コロナ禍の少し前の話になりますが、令和元年10月20日に熊本県民運動公園で開催されたイベントには、子どもから高齢者まであらゆる世代が参加し、輪投げやダーツ、グラウンドゴルフなどの競技を交えたウォークラリーが開催され、皆で健康づくりを楽しみ、交流を深められました。



託麻南校区

『託麻南校区ふれあいどんどや』

1月8日（日）、託麻南校区では校区自治協議会主催の「どんどや」が2年ぶりに託麻南中央公園で開催されました。当日は地域住民をはじめ、地域役員、消防団や防犯協会、交通安全協会の方々の協力により運営が行われ、地域から竹や木材、藁をはじめ正月飾りやしめ縄などが持ち寄られました。やぐら製作は、やぐらの指導者によるもので、竹の切り出しから運搬まで参加者総出で協力し合い、やぐら指導者のもと、立派なやぐらが組みあがりました。午前11:00、小学生により点火され、瞬く間に大きな炎が立ち上がりとともに公園内には、竹のはじける大きな音が響き渡りました。燃え上がる様子を皆で見守りながら無病息災を願い、伝統的な風習が次世代へと受け継がれる行事となりました。



託麻南校区6町内における『防災訓練』



11月20日（日）託麻南校区6町内自治会の主催で防災訓練が行われました。6町内は県営八反田団地のみで組織された自治会です。当日は50名程の参加者で、10:00に団地内の集会所に集合し、東区役所総務企画課の担当者の指導のもと、負傷者の搬送方法や毛布と物干し竿で作った手作りの担架を作製し、搬送方法も学びました。また、団地内の空き部屋を活用した避難先を確認するとともに、危険個所の伝達訓練、アルファ米を炊く訓練も行われました。災害時における早めの避難、そして自らできる「自助」の取組みの必要性も皆で再確認しました。



託麻北校区

竹あかりイベント

託麻北校区では、例年小学校運動場で実行委員会主催による竹あかりイベントが開催されています。毎年クリスマス前の時期に開催され、今年は天候にも恵まれ、キッチンカーやJ A直売、ステージイベント、しめ縄づくりなど、子どもたちを中心に賑わいをみせました。中でも校区自治協議会が主催する「ミニ防災訓練」ブースでは、避難所への車両誘導ルートの説明や非常食の試食も行われ、地域住民の情報交換の場にもなっていました。コロナ禍での制限下、工夫を凝らしたイベントとなりました。



託麻北小学校の農業体験



託麻北小学校では、白川中流域に所在する供合地域の優良農地を最大限に活用した農業体験学習が総合学習等の一環として取り組まれています。えだまめ・じゃがいも・さつまいも・もち米など、季節やその年の気候に応じた農作物の植え付けから収穫まで、学校全体で学年に応じた作業を行い、収穫したものは給食等で提供され、収穫の喜びや食の大切さを学んでいます。この学習では、供合地域農地・水・環境保全組織の藤本代表を中心に、子どもたちに丁寧な指導とともに、日常の農地管理も行っていました。

将来を担う子供たちがこの地域で農業の大切さを学び、供合地域への郷土愛を育てることを切に願っています。

